

ESG 投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」および 「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕 裕美）は、この度、ESG（環境・社会・ガバナンス）のグローバル基準を満たす日本企業を対象とした株価指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。



**FTSE JPX Blossom
Japan Index**



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

FTSE JPX Blossom Japan Index は 3 年連続の選定であり、グローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、ESG について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。

※FTSE Russell とは、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野についての評価機関。FTSE JPX Blossom Japan Index の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしている。

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index は 2022 年 3 月の組成当初から 5 年連続の選定であり、各セクターにおいて相対的に、ESG の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア*1により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

*1 TPI 経営品質スコア…企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの。

これらの株価指数は、日本の公的年金積立金管理・運用機関である GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）も、ESG 投資の運用にあたっての投資判断基準の一つとして採用しています。

東海理化グループは、経営理念である豊かな社会づくりへの貢献、自然・地域との共生を具現化した SDGs 経営を継続して推進していきます。

【当社のサステナビリティへの取り組み】 <https://www.tokai-rika.co.jp/sustainability/>

<本件に関するお問い合わせ先> 総務部広報室（0587-95-5211）